資料６

２００３．３．１９

第一回知的財産戦略本部会合　　プレゼンテーションレジュメ

弁護士　久保利英明

１．コンテンツこそ知財立国の柱

ピカソが激賞した日本のアニメ
次世代の輸出産業はもの作りでなくマンガ、ゲーム、アニメの可能性
「千と千尋の神隠し」「ピカチュー」のクリエーターの得たもの
コンテンツ流通の寡占化
クリエーターの下請化
著作権ビジネスのプロデューサーとしての弁護士不足

２．国家としての最大のウィークポイント「司法」

明治維新の限界
大蔵大輔　井上馨　ＶＳ司法卿　江藤新平の戦い
官民あげて司法嫌いの日本　たった２万人の弁護士
知財ロースクールの必要性
土建国家から知財国家へ
「権利のための闘争」に金を惜しむな
１００万人の弁護士を擁する司法大国　　米国
年間２万４０００人の弁護士が誕生する中国